



宮川ダムの取り組みや情報をお知らせする「宮川ダムNEWS」です。
本号では、今年度のダム放流実績、3号ゲート工事及び河川環境改善(土砂還元)への取り組みについてお知らせします。

【令和2年度 ダム放流について】

今年度、宮川ダムでは合計2回のダム放流を行ないました。

	(放流期間)	(降雨原因)	(総雨量)
第1回	9月 6日 ~ 9日	台風10号	337mm
第2回	10月 7日 ~ 12日	台風14号	410mm

ダムに流れ込む水量(流入量)の一部をダムに貯め、ダムから放流する水量(放流量)を抑えることにより、下流の増水を緩和させました。地域のみなさまを始め、多くの方々のご理解・ご協力ありがとうございました。

【宮川ダム3号ゲートの工事が始まりました】

平成24年度より着手しましたクレストゲートの取替工事について、平成30年度までに1号、2号ゲートが完了し、令和2年10月より、残る3号ゲートの取替に現地着手しました。現在、大型クレーン(200t吊、ブーム長70m)で新しいゲートを据付けています。令和3年10月(予定)には完成し、ダム上の道路も通行可能となります。



【河川環境改善(土砂還元)の取り組みについて】

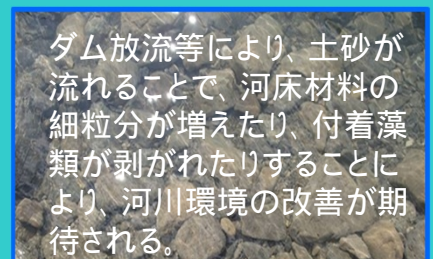
ダム下流河川の環境改善への取り組みとして、土砂還元工事に着手しました。桧原、岩井に堆積した土砂をダム直下に置き土し、土砂の移動量や、生態系等(魚類、藻類)の調査のうへ、流下した土砂の状況を把握しながら事業を進めていきます。土砂還元工事に際し、土砂運搬や調査等、地域住民の方には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



下流の堆積土砂を掘削し
治水安全度を向上



掘削土の一部を河床の粗粒化
が著しいダム直下に置き土



ダム放流等により、土砂が流れることで、河床材料の細粒分が増えたり、付着藻類が剥がれたりすることにより、河川環境の改善が期待される。